

臨床研究に関する情報公開について

研究課題名	COVID-19 に対するチーム医療における臨床検査専門家の取り組み
研究機関の名称	自治医科大学 地域医療学センター 地域医療学部門
研究責任者の氏名	小谷 和彦
研究対象	2020 年度(7～8 月)に日本臨床検査医学会(チーム医療委員会担当理事:田部陽子、同委員長:小谷和彦)が実施したアンケート調査「新型コロナウイルス感染症対策に関するチーム連携の取り組みに関する実態調査」(学会評議員宛)に対する回答を対象とします。
研究の目的・意義	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策には多職種連携をはじめとする多彩な取り組みが求められ、この中では COVID-19 診断に資する検査の体制や実践についても話題になっています。これに関して、臨床検査専門家の所属施設内外における取り組みの実態は明らかになっておらず、既存資料を基に分析することは、臨床検査専門家を含む COVID-19 に関する多職種連携について検討することにつながり、医療社会学的に意義を有すると思われまます。
研究方法	日本臨床検査医学会によるアンケート調査で収集された既存資料を使用し、その回答内容に対して記述統計や質的分析を用いて、臨床検査専門家の取り組みの実態を明らかにします。
研究期間	許可されてから 2027 年 3 月 31 日までとします。
研究に利用する情報	「新型コロナウイルス感染症対策に関するチーム連携の取り組みに関する実態調査」の回答を使用します。学会から提供される情報は、回答者を識別する情報を取り除き、代わりに研究用 ID を付したデータセット(パスワードロック付き)として、電子メールで自治医科大学に送られます。ID と個人を特定する対応表は学会が管理します。今回のデータ収集において、対象となることを望まない場合には対象から外させていただきますので、以下の研究責任者までお申し出ください。ただし、その時点で既に研究として報告されている場合には対象から外すことはできません。なお、研究に参加されなくても不利益を受けるようなことはありません。
研究に関する情報公開の方法	ご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内ですが、研究計画を閲覧できます。
個人情報の取り扱い	データは個人を特定する情報を含まない状態で解析しますので。研究責任者がファイル(パスワード付き)にデータを記録し、磁気記録媒体に保存し、厳重に管理します。研究成果を学会発表や論文などで報告する場合にも、個人は特定されません。
研究組織	自治医科大学 地域医療学センター地域医療学部門 小谷和彦(研究代表者) 順天堂大学 臨床検査医学 田部陽子
問い合わせ先および苦情の窓口	* 研究責任者 自治医科大学 地域医療学センター 地域医療学部門 教授 小谷 和彦 〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1 電話:0285-58-7394 * 苦情の窓口 自治医科大学附属病院 臨床研究センター管理部 電話:0285-58-8933